

## 仕様書

1. 業務名：大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門の研究補助業務における人材派遣業務（単価契約）
2. 派遣期間：2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日
3. 派遣人数：1 名
4. 派遣労働者の就業場所：
  - (1) 名称：大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門
  - (2) 所在地：大阪市阿倍野区旭町 1 丁目 2 番 7 号  
大阪公立大学阿倍野キャンパス内の実験室及びあべのメディックス 2F 212 号室
5. 派遣要件
  - (1) 就業時間：午前 9 時 00 分から午後 5 時 15 分まで  
実務時間：7 時間 30 分  
休憩時間：45 分  
※8 時間を超えて就業する場合は、休憩を 60 分とし、休憩は業務に支障のない範囲で取得することとする。ただし、業務の状況に応じて時間外労働をする場合がある。
  - (2) 月曜日から金曜日まで  
※国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条に定める休日及び年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）を除く。  
※就業場所で業務に従事する派遣労働者は、派遣期間を通じて可能な限り同一の者が従事するよう配慮すること。
6. 時間外労働  
時間外労働は原則行わないが、やむを得ない場合には、前記の就業時間に拘らず、派遣労働者に時間外勤務を命ずることができる。就業時間外の労働を命ずる場合、1 日 4 時間、1 か月 45 時間、1 年 360 時間の範囲で命ずることができるものとする。
7. 派遣労働者の休暇取得
  - (1) 派遣労働者が派遣期間中に、受託者の付与する有給休暇を取得する場合には、休暇取得の前日までに、10.指揮命令者に対して休暇取得を申し出ること。
  - (2) 受注者及び派遣労働者は、休暇の取得にあたっては、業務に支障をきたさないよう留意すること。
  - (3) 業務に支障を来すと判断した場合には、受注者に対して代替の派遣労働者を求めることができるものとする。
8. 派遣労働者の業務内容：病理切片作成等の生化学実験業務ならびに実験データの解析と学会等、学外での発表
9. 業務遂行上必要な技能・経験・知識等：
  - 大学院医学専攻、かつ博士課程修了もしくは修了見込み
  - 組織ブロックと切片作成、免疫染色、顕微鏡観察の経験が 5 年以上あり、下記の操作、実験が指示書・説明書通りに実施ができること
    - ・組織検体のパラフィンブロック、凍結ブロックの作製、薄切の技術を用いた実験
    - ・免疫組織化学染色の知識、技術を高度に活用した実験
    - ・蛍光顕微鏡の知識、操作を伴う実験

- 下記の実験手法の経験が豊富で、高いスキルを有していること。
  - ・各種の顕微鏡の操作（位相差、蛍光、共焦点レーザー等）
  - ・マウスを用いた動物実験（麻酔、投与、採血、解剖等）
  - ・ウェスタンブロット、in situ ハイブリダイゼーション等の各種の生化学的分析実験
  - ・無菌操作、培地作製、継代培養、凍結保存等の各種の細胞生物学的実験
  - ・PCR や遺伝子発現解析等の各種の遺伝子工学的実験
- 関連する英語学術論文を読解できる英語能力と基本的な専門性
- 中国人研究者が多いため、中国語および英語でのコミュニケーションが可能であること
- 実験データ整理について必要な PC スキルが備わっていること（Word、Excel 等）
- 安全衛生教育に関する研修を受けていること

#### 10. 指揮命令者

大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門  
担当者： 特任准教授 楊 伶俐  
電話番号： 06-6556-7618

#### 11. 派遣先責任者及び苦情申し出先

大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門  
担当者： 特任准教授 楊 伶俐  
電話番号： 06-6556-7618

#### 12. 派遣労働者の報告

派遣事業者は、従事させる月の前3日まで（土日祝を除く）に、従事するために必要な派遣労働者の情報を提供し、勤務時間外・緊急時の連絡先を明確化すること。ただし、やむをえない理由で派遣労働者が月の前3日までに決まらない場合は、勤務日5日前までに派遣労働者の情報を提供することとする。

#### 13. 派遣労働者の交代

- (1) 派遣労働者が病気、休暇等により就業出来ない時は、受注者は速やかに発注者の要求する条件を満たす代替労働者を確保すること。ただし、発注者が受注者に対し、代替者の補充が必要でないと判断した場合、あるいは、急病等やむを得ない突発的な事情から代替労働者の確保が困難であると発注者が判断をした場合は、この限りではない。
- (2) 派遣労働者の不適切と認められる事由がある場合には、その理由を示して当該派遣労働者の交替を受注者に要求することができる。

#### 14. 欠員の補充

派遣事業者は、突発的な事情等により欠員が生じる場合には、業務に支障がないように補充等の対策を講じるものとする。

#### 15. 服装等

派遣労働者は、本法人の身だしなみ・応対マナー取決め事項（髪色はカラーリングスケールレベル8以下等）に準じ、本法人の風紀信用等を損なうことがないよう服装等に十分な注意を払うものとする。ユニフォームは本法人が貸与する。

#### 16. 派遣業務の報告

派遣労働者は、勤務日の業務終了後直ちに、業務の完了を確認した書類（本法人と協議した様式に勤務時間等を記入）を指揮命令者へ提出し確認を受けること。

#### 17. 個人情報の保護

- (1) 受注者及び派遣労働者は、業務上知り得た事項について第三者に漏らしてはならない。

また、契約期間終了後及び離職後においても同様とする。

- (2) 個人情報及び特定個人情報を業務以外での目的で複写・複製してはならない。
- (3) 個人情報及び特定個人情報が記録された文章等を外部に持ち出してはならない。
- (4) 受注者は、労働基準法、労働安全衛生法、労働派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律等の関係法令を遵守すること。

#### 18. その他の費用

- (1) 交通費：通勤に係る交通費については、人材派遣費用に含めるものとする。
- (2) 機器等：業務遂行に当たり、必要となる設備、機器、消耗品等については、発注者が無償で貸与する。受注者及び派遣労働者が、故意または過失によって、上記で貸与した機器等に損害を与えた場合は、受注者及び派遣労働者が、その損害を実費で支払うものとする。

#### 19. その他

- (1) この仕様書に定めのない事項が生じた場合、また不明な点が生じた場合等は、発注者と受注者で協議し決定するものとする。
- (2) 業務遂行にあたり、受注者が発注者の改善指示に従わず、是正がなされない場合、発注者は契約を解除できるものとし、受注者は違約金を支払うものとする。

#### 20. 問い合わせ先：

大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門

担当者： 特任准教授 楊 伶俐

電話番号： 06-6556-7618